



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
理、貿易業務担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	89,785	6.0	7,663	6.4	7,870	6.6	5,324	7.1
2024年3月期第3四半期	84,707	△0.0	7,202	△0.7	7,385	△0.3	4,970	△0.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 5,924百万円 (5.0%) 2024年3月期第3四半期 5,645百万円 (23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	154.44	152.81
2024年3月期第3四半期	145.59	143.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	102,622	88,494	84.5	2,485.05
2024年3月期	102,701	84,284	80.1	2,410.12

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 86,671百万円 2024年3月期 82,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2025年3月期	—	40.00	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期における1株当たり期末配当金については、5円00銭増配の40円00銭から45円00銭に変更しております。詳細については、本日(2025年1月31日)公表いたしました「期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	3.9	9,000	13.5	9,100	8.2	6,000	3.7	175.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）連雲港花茂日用品有限公司

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	37,375,636株	2024年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,498,326株	2024年3月期	3,234,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	34,479,511株	2024年3月期3Q	34,140,945株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善し景気の持ち直しが見られるものの、円安などによる物価上昇の影響を受け消費者の節約志向は高く、依然として先行き不透明な状況となっております。また、中国経済の減速長期化や1月に発足したアメリカ大統領の新政権による政策などが、日本の経済・金融市場にどのような影響を及ぼすかは引き続き注視してまいります。

当社グループが身をおく流通業界においても、原材料費・物流費をはじめとする各種コストの上昇、電気代や生活必需品などの物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりにより、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下、当社グループといたしましては、2025年3月期の経営方針として、「100年続く経営土台を描こう!」を掲げ、各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高89,785百万円(前年同期比106.0%)、売上総利益25,474百万円(前年同期比106.4%)、販売費及び一般管理費17,810百万円(前年同期比106.4%)、営業利益7,663百万円(前年同期比106.4%)、経常利益7,870百万円(前年同期比106.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,324百万円(前年同期比107.1%)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

家電関連では、2024年2月に新たな商品カテゴリーとして発売したふくらはぎをケアする家電「ゴリラのひとつかみ」がSNSやメディアで注目されたことも後押しとなり、ゴリラのハイパワーシリーズの販売が好調に推移しました。その他、冬物家電では、加湿器やセラミックヒーターなどの販売が伸長しました。

家庭用品関連では、定番フライパン「evercook(エバークック)」における前期後半からの売場拡大が引き続き奏功したことに加え、アメリカのキッチンブランド「CORELLE(コレール)」の初となるフライパンシリーズを新たに取り扱い、販売が順調に推移しました。

均一価格ショップ向け商品では、手芸クラフト用品やイベント・パーティー用品などの雑貨類、アパレルカテゴリーの靴下、菓子・食品などの販売が好調でした。

その結果、当セグメントの売上高は47,360百万円(前年同期比109.4%)、セグメント利益4,025百万円(前年同期比96.4%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

NB加工関連では、ギフト市場縮小により中元歳暮の販売は前年同期と比べ同水準になりましたが、宅配おせちやブランドスイーツにおいては販売が伸長しました。また、商品の改廃を行ったことで利益率は改善いたしました。

有名ブランド関連では、ブランドバッグ・ブランド時計・ブランドジュエリーにおける専門店向けの販売が前年同期を下回った一方、インバウンド需要が旺盛なディスカウントストア向けの販売が伸長しました。また、当社が販売代理店を務めるアウトドアブランド「STANLEY(スタンレー)」では、SNSやポップアップストア展開による認知度向上に加え、人気アイテムの真空スリムクエンチャーのラインアップ拡充により新たな客層を獲得するなど、引き続き販売が好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は39,870百万円(前年同期比103.2%)、セグメント利益4,307百万円(前年同期比124.5%)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は80,902百万円となり、前連結会計年度末(80,452百万円)に比べ450百万円増加いたしました。これは主に、売掛金7,791百万円、受取手形172百万円、電子記録債権550百万円、その他533百万円の増加及び現金及び預金7,927百万円、商品及び製品665百万円の減少によるものであります。

固定資産は21,719百万円となり、前連結会計年度末(22,248百万円)に比べ529百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券117百万円の増加及び建物及び構築物(純額)349百万円、有形固定資産その他(純額)97百万円、無形固定資産92百万円、繰延税金資産105百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、102,622百万円となり、前連結会計年度末(102,701百万円)に比べ79百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は13,043百万円となり、前連結会計年度末(17,377百万円)に比べ4,333百万円減少いたしました。これは主に、買掛金969百万円、その他1,341百万円の増加及び1年内返済予定の長期借入金6,600百万円、未払法人税等31百万円の減少によるものであります。

固定負債は1,083百万円となり、前連結会計年度末(1,040百万円)に比べ43百万円増加いたしました。これは主に、その他47百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は88,494百万円となり、前連結会計年度末(84,284百万円)に比べ4,210百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5,324百万円、資本剰余金201百万円、自己株式1,161百万円、その他有価証券評価差額金61百万円、繰延ヘッジ損益328百万円、為替換算調整勘定70百万円の増加及び剰余金の配当2,755百万円、新株予約権91百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、84.5%(前連結会計年度末は80.1%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は42,259百万円となり、前連結会計年度末より11,927百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は346百万円(前年同期は1,869百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7,877百万円、減価償却費536百万円、棚卸資産の減少額668百万円、仕入債務の増加額953百万円、未払消費税等の増加額380百万円、その他の流動負債の増加額933百万円による増加及び売上債権の増加額8,500百万円、その他の流動資産の増加額59百万円、法人税等の支払額2,464百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は3,926百万円(前年同期は1,271百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,000百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入200百万円による増加及び定期預金の預入による支出5,000百万円、有形固定資産の取得による支出46百万円、無形固定資産の取得による支出62百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は8,434百万円(前年同期は2,697百万円の減少)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入1,228百万円による増加及び長期借入金の返済による支出6,600百万円、リース債務の返済による支出78百万円、配当金の支払額2,752百万円、非支配株主への配当金の支払額230百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,187	47,259
受取手形	271	444
売掛金	13,722	21,514
電子記録債権	1,476	2,026
商品及び製品	8,889	8,224
短期貸付金	5	—
その他	900	1,434
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	80,452	80,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,980	13,742
減価償却累計額	△6,163	△6,276
建物及び構築物 (純額)	7,816	7,466
土地	9,385	9,385
その他	3,432	2,743
減価償却累計額	△2,719	△2,128
その他 (純額)	713	615
有形固定資産合計	17,914	17,467
無形固定資産	421	328
投資その他の資産		
投資有価証券	2,683	2,800
長期貸付金	1	—
繰延税金資産	124	19
その他	1,109	1,110
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	3,912	3,923
固定資産合計	22,248	21,719
資産合計	102,701	102,622
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,487	7,456
1年内返済予定の長期借入金	6,600	—
未払法人税等	1,363	1,332
役員賞与引当金	58	54
賞与引当金	11	2
その他	2,855	4,197
流動負債合計	17,377	13,043
固定負債		
退職給付に係る負債	641	637
資産除去債務	10	10
その他	388	435
固定負債合計	1,040	1,083
負債合計	18,417	14,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,475
利益剰余金	75,008	77,577
自己株式	△5,105	△3,943
株主資本合計	81,169	85,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	598
繰延ヘッジ損益	146	475
為替換算調整勘定	404	475
退職給付に係る調整累計額	26	20
その他の包括利益累計額合計	1,114	1,569
新株予約権	309	217
非支配株主持分	1,690	1,604
純資産合計	84,284	88,494
負債純資産合計	102,701	102,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	84,707	89,785
売上原価	60,766	64,311
売上総利益	23,940	25,474
販売費及び一般管理費	16,737	17,810
営業利益	7,202	7,663
営業外収益		
受取利息	28	52
受取配当金	46	52
債務勘定整理益	1	2
為替差益	42	—
助成金収入	1	0
受取補償金	—	47
その他	85	128
営業外収益合計	205	284
営業外費用		
支払利息	3	1
支払手数料	2	2
為替差損	—	12
支払補償費	—	50
解約違約金	5	—
その他	11	11
営業外費用合計	23	77
経常利益	7,385	7,870
特別利益		
関係会社株式売却益	—	6
特別利益合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	7,385	7,877
法人税、住民税及び事業税	2,283	2,455
法人税等調整額	17	21
法人税等合計	2,301	2,477
四半期純利益	5,084	5,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,970	5,324

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	5,084	5,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	61
繰延ヘッジ損益	229	328
為替換算調整勘定	206	139
退職給付に係る調整額	8	△5
その他の包括利益合計	561	524
四半期包括利益	5,645	5,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,440	5,780
非支配株主に係る四半期包括利益	204	144

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,385	7,877
減価償却費	599	536
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27	△11
株式報酬費用	132	43
助成金収入	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△75	△105
支払利息	3	1
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,744	△8,500
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△64	668
仕入債務の増減額 (△は減少)	862	953
未払消費税等の増減額 (△は減少)	257	380
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△237	△59
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	567	933
その他	13	6
小計	711	2,705
利息及び配当金の受取額	75	107
利息の支払額	△5	△2
法人税等の支払額	△2,651	△2,464
助成金の受取額	1	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,869	346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,283	△5,000
定期預金の払戻による収入	283	1,000
有形固定資産の取得による支出	△64	△46
無形固定資産の取得による支出	△200	△62
投資有価証券の取得による支出	△19	△19
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	200
投資有価証券の売却による収入	2	2
貸付金の回収による収入	10	5
その他の支出	△6	△5
その他の収入	6	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,271	△3,926
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△6,600
ストックオプションの行使による収入	—	1,228
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△99	△78
配当金の支払額	△2,387	△2,752
非支配株主への配当金の支払額	△210	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,697	△8,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	140	86
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,696	△11,927
現金及び現金同等物の期首残高	52,639	54,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,942	42,259

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式736,500株の処分を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,162百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,943百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	43,302	38,627	81,929	2,668	84,597	—	84,597
その他の収益	—	—	—	109	109	—	109
外部顧客への売上高	43,302	38,627	81,929	2,778	84,707	—	84,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	6,011	6,011	△6,011	—
計	43,302	38,627	81,929	8,789	90,719	△6,011	84,707
セグメント利益	4,174	3,460	7,635	552	8,187	△985	7,202

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△985百万円の内訳は、セグメント間取引の消去134百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△444百万円及びその他調整額△675百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	47,360	39,870	87,231	2,436	89,667	—	89,667
その他の収益	—	—	—	118	118	—	118
外部顧客への売上高	47,360	39,870	87,231	2,554	89,785	—	89,785
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	6,405	6,405	△6,405	—
計	47,360	39,870	87,231	8,960	96,191	△6,405	89,785
セグメント利益	4,025	4,307	8,332	382	8,715	△1,051	7,663

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,051百万円の内訳は、セグメント間取引の消去98百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△298百万円及びその他調整額△851百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。